わって来ましたの

ラ

代学、分別

手代木

遠藤

13代

分子

れ的

を介して知り合っ

弘前大学同念会報

平成24年5月31日 発行日 弘前大学同窓会 発行者 吉田 豊 元学長 字

13 号

じているというのが本音本当の大変さを改めて感 いて次期学長候補者に指九月の学長選考会議にお たような気がします て… という思いもあっ 心のどこかでは、もう小こととは思ったものの、 名された時に 就任いたしました。 をもって弘前大学学長に 先なのでじっくり考え は、 ~もう少 大変な 月 昨年 きるように思います。まさ き組織であり、教職員個々 All for One、を目指すべ とを自然に学ぶことがで

大学は"One for All

生まれ、昭和五十(一私は昭和二十五(一九 生生活の思い出のすべて 時代はラグビー 部を卒業しました。学生七五)年に弘前大学医学 卒業後もラグビー と言っても良いほどです。 に没頭できたことは、 くの仲間とチームプレー をさせていただきます。 最初 六年間にわたって多 - 年に弘前大学医学|れ、昭和五十(一九| し自己紹介 部に所属 (一 九 五 市に た。 強の機会でもあり、 それ自体が重要な勉 教育に関与すること

また、

を介してそれに徹するこ for All, All for One, 尊重されるべきであ ざまな活動において うラグビーの精神は、 ラグビー)建前も、ラグビー もう一 外のさま

められます。卒業後私は、て業務に当たることが求が大学全体の視点を持っ 学して以来、生理部門)の この一月まで所属してき きるという、今思えば幸はほとんど研究に没頭で 育活動の機会が増えまし できましたが、次第に教せな時期を過ごすことが 施設であったため、 た研究室 てきました。 生理部門)の大学院に入附属脳卒中研究施設病態に研究室(当時の医学部 ため、当初 所属が研究 研究を行っ

かでも、い 身が満足できるよう念じ を入れる弘前大学であり できるだけ学生と自分自 授業を担当する限りは、 てきたつもりです っています。 教育に力 おける中規模統合大学と五つの学部と七つの大学 して充実・

で、教育と研究は一体で 学のもう一つの柱は研究 また、 り方をも考えることが重学問の在り方、教育の在 発な研究活動を通 要です。 必要な時期に来ています。 なんらかの見直し 言うまでもなく大 弘前大学のモッ 要と考えて して、

もと地は 地域 た。私たちは、 きな役割です。 ことにあります とともに創

割です。幸いにし域貢献は大学の大 それで慢 が、もと

があります。 る高等教育の 方の つに、 L が 域にあって、地元も経済的に余裕のとかも平均すればないの保証がある。中央から遠ればの保証がある。 り機会の保証 地域におけ 大学法人の犯 をです。特に にも本学には多くの取り組みがその一つと取り組みがその一つと 持ち ら、一方では広い視ら、一方では広い視り 組みがあります かその一つとの特性を考え

が、

で な

チーム弘大&チーム佐藤学長のもと

度々でござい

柄 を 垣

間見るこ

と

もが後り

野な

平成十年代前半に創立五 平成十年代前半に創立五 工力 中間年記念事業を主導された吉田豊元学長時代に

要

を

す

弘前大学長

敬

な必隔いずで

| 与できるならば本学の意 | 北東北地域の発展にも寄 | で、青森県を中心とする。 せん。加えて、地域の産なことがあってはなりま 弘前大学がその教育、きいものがありますの 義が一層高まることと思 究の力を後退させるよう 研 の方々にご支援をいたをはじめ、学内外の多りません。同窓会の歩 です。

です。 をはじめ、 が、 すますの発展を目指 きながら、 いきたいと念じてお 課題は数多くあ いずれも容易で つつ産官学金連 弘前大学

のた多皆は まだく様あ

共に創造する弘前大学」と定められました。その後、平成十四年二月からにおかれては、平成十六年度から独立行政法人化におり国立時代に比べ大のられる環境下のもと、

して

0

願 ま

いただくようになりましているというお話は、地で域の方々からも指摘しているというお話は、地ではの方々からも指摘しているというお話は、地ではの方々がというお話は、地ではいただくようになりません。 域と共に、を意識して 心することなく、常に、地 います。

真摯かつ凜としたお人柄の

遠藤正彦前学長

同窓会会長

(医学部長)が就任されまび佐藤敬前医学研究科長のた の象徴的存在であり、か史と伝統に培われた弘大史と伝統に培われた弘大 佐藤敬学長のプロフィー 窓生共々、 い、お慶び申し上げます。 した。六万二千余名 大学運営の要諦である 衷心より が 祝 同 た。

大大学院医学研究科を修昭和五十四年三月に弘で現在六十一歳。 昭和五二十 に藤学長は昭和二十五 佐藤学長は昭和二十五 分子細胞生物的研 世疾患に関する生 一貫して脳内障 の手として大学に 成十八年には医 の若さで医学部 ·成十九 年には 28. 8.19 32.12.15 37. 1.31

私共

の母校弘前大学は

43. 1.31

大学院 昭47. 2. 1 -

歴 代 学 長

清泰 昭24. 5.31 -初代 丸井 2代 郡場 寛 昭29. 2. 1 -七録 昭33. 2. 1 -野村 佐藤 5代 柳川 昇 昭43. 2. 1 - 47. 1.31 7代 大池弥三郎 昭53. 2. 1 - 57. 1.31 牧野吉五郎 昭57. 2. 1 - 61. 1.31 8代

正彦 平14. 2. 1 -

平24. 2. 1

た。平成八年に四十五才と学され、当時最先端の分は、年には米国ユタ大学に留し 間昭和五十 学部長、平均工工 八一六十 平才

時には「謙虚で真摯な 全学同窓会の役員を す つ 流の機会を得ましたの 私が佐藤学長と直接 9 いう印象でござい かった数年前であ つれ「謙虚ながら、 れる、凛、とし 最初にお会い

なられ、 真摯かつ凛としたお れました。 ら第十三代学長に就る (学部長併任) この二月一 任さ 人柄 Н かに められました。

を始め数多くの成果を収 ら創立六十周年記念事業 このモットーを掲げなが

まし ねる 方した りま の接 交 せは

お筋 こうとする姿勢に感銘と 心強さを禁じ得ません。 かれましては、今なお世界的に経営の神様と畏敬 る「優れたリーダー・ド る「優れたリーダー・ド るご自身の人間性・リー るご自身の人間性・リー るご自身の人間性・リー るだ藤学長のもと、「世界に発信し、地域と共の必 り造する弘前大学」の更なる振興・活性化が図られるものとご期待申し上 かれましてもこのモッされました佐藤学長にお る精神・魂をしっかりと、 トーを掲げ、その意図す かつ連綿と引き継いで 11

平 8. 2. 1 - 14. 1.31

24. 1.31

11/6/17

11/10/10

11/10/23

12/3/19

11/8/25·26 宮古市

12/3/13:14 南三陸町

登米市 野田

岩泉 HJ

釜石

郡山

野田村

仙台市

南三陸町

久 慈 市 詳しくは下記URLにて報告してます。

村

いました。 成を利用した団体から、 弘前大学同窓会では、

弘前大学人文学部

ランティアセンター

の

災で犠牲になられた方々経過しました。改めて震 申し上げます。また、ご のご冥福を心よりお祈 本大震災から 度と言わ 一われ ŋ がた を改めて感じた次第です。 のボランティアの力の凄さ

参加しました。

Ė

皆様にお悔やみ申し上げ家族や友人を亡くされた

甚大な被災状況を知り、

野田の皆さんに弘大

年三月末に「弘前大学人 文学部ボランティアセン い気持ちで教員仲間と昨 てもたってもいられ 四月か な 生の若い。 ら、 11 ます。その他にも、交一の若いパワーを届けて

震災直後は、瓦礫撤去、 初めて

のです。 宮古市 スティールパン、 津軽三味線

スティールパン、

スティールパン

グラスハーフ

津軽三味線

津軽三味線

なと思っていましたが、 つを探し出すためには、 八月末には瓦礫撤去作業 つになったら片付くの 当初は、 瓦礫の・ 弘前 山は かい

ぱいでした。そりつりと、被災者の皆さんの大ど、被災者の皆さんの大人 中には、子供の七五三や汗を流しました。瓦礫の 況に戸惑いながらも、学目にする壊滅的な被害状 活動内容でした。 生と市民が一体となって、 宅の清掃作業などが主な

支援物資の仕分け、個人 ながら行いました。

そして大学が連携を取り 動は弘前市と市民団体、 ら岩手県野田村の支援交 流活動を始めました。活

ター」を設立し、 流登山会やクリスマス、 小正月、バレンタインなど、

「スティールパン部」「 つの演奏系課外活動団 が顧問をつとめる三

ラス 軽三味線サークル」「グ

いました。

平成24年5月31日 (2)

現地の状況や、ボランティア活動の報告をしてもら東日本大震災活動支援の助成を行いました。この助

中で寄り添うよう

月にわたって三十三回、 て延べ千二百五十六名が ら活動を続けています。 な交流活動を心掛けなが 活動は四月から十一 学生、教員合わせ カ もと、 ことになりました。 ボランティア演奏にい 届けよう」という思い いた宮古市内の小学校に

な中、 まりの惨状を目の当たり た。そんな時、 る方々が集まっていまし した。 もらえるのかと…。そん して小学校に避難して にして不安に襲われまし 先生方、ご家族、そ 私たちは受け入れて 私は緊張も相まっ 体育館には、小学 演奏会は始まりま 被災地に入り

支援をいただきながら以 ル」は同窓会などからご 下のように被災地にてボ ランティア演奏をおこな 奏が被災者の笑顔を生わりました。私たちの演 真剣に聞いている輝く瞳た。そんな時、小学生の た。すると、自然と表情 の硬さがとれて笑顔に うな笑顔が目に映りまし やおばあちゃんの楽しそ 硬い表情のままでし 変

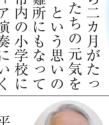
教育学部准教授

富田田

http://siva.cc.hirosaki-u.ac.jp/usr/tomita/volun/volun.htm なり、 をくれるんだと。そう感 の活動に励むようになり 作るもの」と思うように じた私は「元気は一緒に それが私たちに元気 その後の被災地で



「一緒に元気を 理工学部四年奥崎菜々夏 から二カ月がた 作りませんか? (津軽三味線サークル)



避難所にもなって \langle は、

11



人文学部長

四宮

皆様

す。学部の経営学コースで 、文学部長を務めていま 平成二十四年三 一経営史の講義を担 月 から 当

らほぼ一年、被災地では、 たと思われます。あれか 運不運、運命の何たるか に人知の及ばない人生の昨年の大震災は、我々 しております。 出来事でした。被災され にまで思いをはせさせる 残った人々が心に痛手を た同窓生も少なくなかっ

てくれています。 組み、我々に元気を与え抱えながらも復興へ取り ところで、私は、

どによる職務の会得やリー 訓練や経験、自己学習な それらをベースとしての 資質や能力、自覚の有無、 企業活動の当事者がもつ とも強調します。それは、 的に実践の側面があるこ する際、それと表裏一体 的な流れを学理的に論述 活動に関する一連の歴史 企業 脈をもとに企業の枠時、彼らが出身大学 場だけに限りません。 献を休日などに共訳 えて高価な外国の技 者の学習行動を調 つて戦後の企業での

のべ技

だけに限りません。ただし「場」とは、

ついてです。 こうした実践 ーシップ 0 涵 0) 養 な

それ

回覧

たことを知 を企業内に

妙な だせ

は、それ相応の「場」や「様に見出せます。そこでは、に見出せます。そこでは、いるタテの関係だけでない、ヨコの情報的あるいは、理的なタテの関係だけでない、は心理的な相互作用や共体を与えることで、組織的でを与えることで、組織的でな活性化やリーダーシットな活性化やリーダーシットな活性化やリーダーシットな活性化やリーダーシットな活性化やリーダーシットな活性化やリーダーシットな活性化やリーダーシットな活性化やリーダーシットな活性化やリーダーシットなどがもたらさい。 が、 勿論、そこに学閥の臭いても、同様な理解が可いても、同様な理解が可いても、同様な理解が可いても、同様な理解が可いても、同様な理解が可能です。 ソーシャル・ネットワもつ同窓関係を現代的いもありますが、個人の論、そこに学閥の感慨を覚えました。

文超人た術か職 大文学部の学生は、学生活などに必ずしも直結 をしないため、同窓会の存 たなネットワークの「場」 たなネットワークの「場」 たなネットワークの「場」 たなると、彼らの職業生 がりをもたらしていくと その一層の発展を願って います。 の自分にとっての資本とされる。最初は二つの点と一つの線だったものが、と一つの点と三つの線とな三つの点と六つの線、ボカーのの点と六つの線とないったのの点と六つの線とないったのだ。 のの何 ていることの資本でいることのである。

出会い大きな資本に

撮ったりしていた。晩ご

を食べさせてもらえる

ていくことになった映画

NPO法人 harappa プロジェクトマネージャー 平成17年 社会システム課程卒) 在良

初の印象だった。 その後運よく入学が許 なかったのではないかと ないのだが、具体的に「な 間であったことは間違い 思ってしまう。 を得た」ということは、 にかをした」「確かなもの 返ってみると楽しい四年 生活であるが、 こうして始まった大学 いま振り

桜のつぼみがほころびは 穏やかな春の陽射しの中、めるために訪れた弘前は、 じめていた。生き物たち 土の匂いが風に運ばれ、 され、新しい生活をはじ にとって新たに動き始め 映会を企画したり、 違ってもいえないのだが、 研究会に所属して自主上 ができるよき仲間に巡り ゼミでは毎晩お酒を交わ に出席していた、とは間たしかに授業は真面目 しながら馬鹿馬鹿しい話 サークルでは映画 ては墓場までも いま

学外で地域の映画祭や現 代美術の展覧会などのスト う場以外で、幅の広い世 がりが生まれ、さまざま がりが生まれ、さまざま がりが生まれ、さまざま がりが生まれ、さまざま がりが生まれ、さまざま がらが生まれ、さまざま があるときは、放浪な旅に 出たこともあったが、行 に学生という立場を利用 に学生という立場を利用 に学生という立場を利用 に学生という立場を利用 に学生という立場を利用 に学生という立場を利用 に対していたし、世間から見れ で、学生という方には たった。 なって得て誇れるも 大学四年間でカタ

は、種をもらったり、受り、他は、種をもらったり、受り、一とする時期だったのだろう。花が咲くのはまだ名がいかもしれない。ただ今は、広がってゆく人とのかな四季の中で根付いてきた津軽の風土文化が足中で枝葉を伸ばしていくことができる。

マナー

b

木村前会長(右)から鈴木会長へ

富士 山 0)

神奈川県秦野市選挙管理委員会委員長 存在感

佐々木 茂良

ば今年の八月中旬に千 特にハプニングがなけ 半ばになってから初めて富 さえ降らなければ今でも毎 富士山通算登頂回数が九 今年七十二歳になる私は の大台に達します。 年続けている者は現時点 間登頂回数百回以上を六 のときに初めて富士山二〇〇四年、六十四 で国内では私ひとりです。 日登っています。六十代 い記録になりますが、年 山に登るのはちょっと遅 四十六回になりまし りました。爾来八年間、 厳冬期を除いて、 雨 回れ | 信心な私ですが富士山に 教を持たず、日頃から不し とがあります。特定の宗 トコロの深い人間の様相一士山の山容が私には、フーザーの山容が私には、フーザーのでは、 と手を合わせる気持ちが 登る度に、「おかげさま 容力に圧倒されます。 ています。その優雅で永の川や池を潤すと言われ 自然に湧いてまいります。 りがとうございました」 力を与えてくださってあ で登ることができました。 に重なって見えてくるこ 遠で壮大ともいうべき包 富士山に限らず山はど や池を潤すと言われ

百

字は、 るのか?と、訊ねられる 初めてのことになります。 ことがあります。 が足掛け九年の短い数千回登頂までの達成期 なぜ富士山に何度も登 間違いなく日本で なったり、集中力が続かりありすぎても高山病になります。高揚感があま う所はありません。気力こでも簡単に登れるとい でもいったものが必要に 体力をうまく合致させる イメージトレーニングと

内面を想起させるような、があっても動じない人の美にして雄大。なにごと な魅力です。富士山は優 る日々であることが大き 本一の高さに位置する富 山容の中を隈なく駆け巡っ しています。 第一義には健康保持に つも堂々たる姿を現わ 界の広がりを体認でき 山に登ることで自分の りますが、やはり、 そして富士 日 りには汗びっしょりになっ 含めて登山に関わる凛と 達しないという厳しい現登らなければ頂上には到 きることなら気持ちの上 なくなったりします。 て一歩一歩を積み重ねて トするのが理想です。 ゆとりを保持してスター で八割程度の力、二割の 「、っよ、私たちが世」た決まりともいうべき」と それはともかく、

山

登

得しています。避けて通れないことを感 なければならないことは つまり私は今登山を通し く同じであると言えます。 必要なルール・常識と全の中を渡っていくときに て、やるべきこと、やら 中を渡っていくときに

山に登ろうと登るまいとには人それぞれの富士山の日頃の口癖は「人 えるものを努力と工夫で すれば、「不可能だと思 思うのです。別な表現を 待できるものに向き合う たとえ結果がうまくいか出合う喜びは格別です。 りもちょっぴり進化を期 可能にしていく」活動に ことができれば幸せだと 自分の内面で、今までよ ます。よろしくお願いいどこへでも飛んでまいり たします。 だければ喜んでいつでもお気軽に声をかけていた を上梓しました。ご一読 い気持ちでいっぱいです。 山」のお話をお聞きした いただければ幸いです。 めて私はこのほど、『まい き方を分かりやすくまと おひとりの、「私の富士 にち富士山』(新潮新書) 私は今みなさまお一人

会報に執筆の機会を賜り、この度は栄えある同窓 ました。 本当にありがとうござい

|失敗ではない。 真剣に努 なかったとしてもそれは 力しようとしたプロセス

多額の 期会」に深謝!! 寄付金頂く することにした。という を教育学部同窓会に寄付

同窓会長

で となり、今年度で解散す を開き親睦を深めるなど から「二期会は例年会合 ることにした。ついては、 会」代表の木村清之助氏昨秋、教育学部「二期 (前教育学部同窓会長) してきたが、会員も高齢 |期会で蓄えていた金銭 1 る同窓会の現状を思い、的に窮屈になってきてい そのご厚意を頂くことに ましたが、私は有り難く 恐縮の念ももちろんあり もしましたが、加入者も しました。

ら「二十一万四円」の浄念会館において木村氏か十九日、創立五十周年記 財を直接頂きました。 ります。 として有効に活用させて いただきたいと思ってお そして、 二期会の皆様の心を心

します。 0

附属病院が留意

す。

さて、

感謝を申し上げます。 一期会の皆様に心から

今後とも努力と工夫を続 けていくことが生きがい そのことを自己評価して に大きな意義があります。 部



ないでしょうか。

そのような考え方や生

につながっていくのでは

短命県返上へ対策追究 医学研究科長

担当は社会医学講座(旧長を拝命いたしました。 が目立ち、トップ長野県に男性の平均寿命の短さ ングで青森県は、男女と最新の全国平均ランキ について述べてみます。 の一つ「青森県の短命」ですので、ライフワーク 統合し平成十七年に開講) 公衆衛生学と旧衛生学が も最下位(最短)で、特 平均寿命の話をする

「35歳長生きしてどう | 平均寿命対策は、 題なしとは言わないはずだが多いという現実を問いないの死 : す。だれしも、青森県で県の13~1.9倍もあるのでの青森県の死亡率は長野 男性の年代別死亡率(全ます。長野、青森両県の 十・二十代を除く各年代 均寿命は別の意味を持ち です。つまり、青森県の 死因)を比較すると、 個々人の寿命の話で、 かし、それはあくまでも

位の沖縄が長寿であ す」対策なのです。 県であり、県民所得 者を更に元気に長 雪国の北陸各県が 「早死にを

| きな改革と下で | 整備するために、私た

な改革を断行してきま

生

き

れ

7

いるの

で す。

このような教育

ます。 また最長寿県の長野が青 では、青森県の短命は雪・ の県であることを考えれいる。 の県であることを考えれいる。 が、大きでしょう。それはいる。 多分、社会力(社会の連びがあると考えれいる。 多分、社会力(社会の連びがあると考えれいる。 をはいる。 でしょう。 をれる。 ちは、病気だけでなく健場に置き換えれば、私な場に置き換えれば、私な 携、教育、保健福祉の 康・生活までを含め を育成することが求 人的な視点を持った

たく私の全健た立

た。 との差は3.歳の大差でし

連絡が入りました」

突然のことでビックリ

世界 トツ 療機関を目 0 て

附属病院長

手県出身で、一九六九年 抱負などを述べ、同窓会 ての附属病院勤務です。 の弘前大学入学以来、 して十年になります。 して三十一年間、一貫し 十三年間弘前暮らし。 長に就任いたしました。四月一日付で附属病院 皆様へのご挨拶といた 附属病院の現状と私の 整形外科学講座を担当 そ 岩 兀 要となります。 したので、既に二十四年した第一病棟に始まりま あり、今後その準備も必 待っていることも事実で 間経過した建物が改修をしたので、既に二十四年 和六十三年十二月に竣工 充実となっています。 U・発育支援室GCUの 業は集中治療室IC かし、この開発事業は昭 新生児集中治療室NIC U

去る十一月二

花田前病院長ならびに全 病院の再開発事業はほぼ職員の努力により、附属 六年間にわたる 病院外観は た一新 改善への努力、地域連携医・後期研修医の増加、 すべき課題は、初期研修 先進医療の拡

することが重要と考

病院経営健全化

8

かも知れませんが、 新聞報道などでご存 指すことなどです。

め

ら材

たしたい、という切なる

が込められています。

た先進医療の拡大や手術 は 大 大 大 進 医療の拡大や手術 など 日本のあるいは世界 からいというのが私の診療を です。国内外からの若手 たいというのが私の抱負 たいというのが私の抱負 たいというのが私の抱負 たいというのが私の抱負 たっぱい と考えるような教育機関にし です。国内外からの若手 と考えるような教育機関 と考えるような教育機関 教授をはじめとするスタッ のではなく、各研究科の のではなく、各研究科の はない、のがはないに頼る がしたれに頼る 県地域枠卒業生の増 を提供するのが私の最大の為には働きやすい環境の為には働きやすい環境です。そ の役目となります。を提供するのが私の

どお気づきになられまし属病院の改善すべき点な きたな

いと思います。
たならば、是非忌憚の

から、

測できて、

それ

方は、

分は

計

セ

、漢字の意味はある自分は中華系の人だ

部保

最近の

専攻の 理学療法学 留学生動

理学療法学専攻教授 若山

した。しかし、家庭の事 で臨床実習もパスし卒業: 、四年間 ○○三年に中国から一人初めての留学生は、二 国したことが影響し、理情で国家試験受験前に帰 本語能力があれば留学生 者があり一定レベルの日 を受け入れている。 から、 一年の保健学科設置当 理学療法学専攻 国家試験は 則として希望 に寄稿していただいた。間過ごし、この同窓会誌 能であり、一年間東京の ほかに中国語と英語も堪シア人としてマレー語の ン君が入学し、無事一年 現在は起業したと カバン君は中国系マレー 年にマレーシアからカバ 本語もめきめき上達して いる。その後、二〇一一 本語学校で日本語を学 弘前大学入学後、 日

研究生として

年

向 佐 了し、現在は東北大学大大学院博士前期課程を修 学生は二〇一〇年三月に 年に研究生として入学し、 期課程に在学している。 研究指導を行った。この年に大学院に進学、私が 私が指導教員となり、 していた人が、二〇〇七とき調査した施設に勤務 学院医学系研究科博士後 国まで同行したが、この 人留学生は私が担任であ 二〇〇三年入学の 卒業研究の指導で中

ている。 翌年大学院に進学し、 君も私が指導教員となり、 導教員として研究指導. して入学してきた唐布和 二〇一〇年に研究生と

中国から一人入学してい 人、二〇一〇年に同じく 二〇〇七年に中 玉 から 国系であり、 四人とも中

玉

を置

7

大変まじめ 人または

<u>羽</u> おり、今年は当専攻の對スキー合宿を毎年行って学部生を含むゼミ活動で が唐布和君と一緒に参加からの研究員(李寧君) からの研究員(李寧君)馬均教授の指導する中国 で学ぶことに熱心である 比高原で楽しんだ。 ことに共通点がある。 は若山を中に、 私のゼミでは、 初めてのスキーを安 左が唐君、 院生、 写真



けない状態であった。そ も日本語を話さないとい 本人ばかりで、自分 振り返って 自分の周りに (マレーシア) 酸ジュンジ いことだと思っている。いくのは今でも一番楽しの学生と協力し、やって 理学療法学専攻の学生の 勉強は本当に大変になっ た。先生のご指導と他の 目が七つあって、後期の ので、 なかった。発表などで他 後期の授業は、 的に常に復習して 特に困るところは

理学療法学専攻二年

辞り

ダンスを行い、自分も無最初にはいろいろなガイに弘前大学に入学した。

-成二十三年四月下

旬

は日

せた。

事に履修登録などを済ま

0

おかげで、

自分は様々

支えによって、

けないと思われるのか、 をかけてきてくれなかっ 最初のとき、積極的に話 だん皆も親しく自分と接 自分もよく分からない。 時間が経つとともにだん 日本人の学生さん達は してくれた。 英語を話さないとい があった。例えば、保証初の頃はいろいろな問題 決できた。一つ心強いの何となく全部がうまく解 自分は一人暮らしで、最弘前での生活として、 ていた。しかしながら、 人などがなくて特に困っ 、ターがあって、何か弘前大学の国際交流

科書を見ても、

読めな

11

りにくいと感じた。教

た。

字もたくさん出てき

業は日本語を中心として

つぐらいがあって、

前期には、

専門科目

なった。

な言葉が使えるように

となくできたと思って

と思ってい勉強は何

ている。週六日の部活動 れることができると考え なる日本の文化に深く触

更

います。

思って三年、

授は

1,

最初の時少し聞き

専門科 大きな都市ではないかきる。弘前は東京みたい 分は弓道部に所属し、 近くにあって、 静かな町と思っている。 に聞けばだいだい解決で の利用もほとんどなくて、 弘前大学入学後に、 題が生じたら、 生活に必要なもの 電車など そちら

ちろん集中し、 まく調節し、勉強にもも 時間的にそれほど余裕が なかった。しかし、それ 活も続けるようにした でも大学生活の一環と思 い、これからも時間をう 勉強との同時進行は、 一方で部 です。

指しており、

人生の宝が得られる 学部づくりに邁進

理工学研究科長

| 拝命いたしました。この | 研究科長兼理工学部長を | 本年四月一日に理工学 だきます。 場をお借りして同窓会の 皆様にご挨拶させていた

理工学部はかっこいいで病院の先生から「最近の しくなりました。理工学ました。私はとてもうれ すね」と言っていただき 部の研究成果が国内外の は当たり前となり、 しくなりました。 流雑誌に掲載されるの

先生方の申請が国の大型 なりました。 着々と成果が挙っていま プロジェクトに採択され、 際学会で受賞するように のみならず大学院生が国 理工学部

五%、

ます。これらも同窓生の 年度の就職率は学部で九経済情勢下で平成二十二 皆様のご支援の賜物と厚 程で九七%と健闘してい す。また、昨今の厳しい 大学院博士前期課

成果に追わ

る

間いる

たします。

命は教育・研究です。利いもあります。大学の使はいないだろうかとの問 です。今でも講義室機化学の講義を聞い 震えを覚えています。 と思ったのは三年生いう学問が初めて面 自身は有機化学を専 しておりますが、 大切なも

な °でたの白学門 °のの 試卒の時無いとと私使思

事ではありませんが、後々事ではありませんが、後々 は学生同士の濃密な時 同窓会報を読んで 業研究では購入可能 とって良い教育とは何は私の宝です。 学生 哲学を学びました。 先生と学生、あ

ました。それ、先生の研究

かにれ究受

理工学部の更なる発展に向けて取り組んで参りますようお願い申し上げますようお願い申し上げますようお願い申し上げますようお願い申し上げますとともに、 皆様の

野鳥を撮るイン弘前

昭和46年 理学部化学科卒)

写真は二千枚以上だと思 観察や撮影に使おうと 定年後の時間を 自分が生まれ育っ 撮りためた 目標は間近 山研修の機会を得て、立られました。文部省の登 き、 えたりしていました。 野鳥たちのさえずりを聞 時間もあり、 偶然山岳部の顧問に当て ていました。その途中、 囲の山々の登山に費やし います。 大学卒業後教職に就き、 どんな鳥だろうと考 岩木山や周 方で自由

由の一つです。もちろん大学に入学したことが理 当時は専門の化学への興 なぜ野鳥に興味を示し 実験が たことを覚え ビスケットを食べていた 山の頂上付近で休憩中、 山研修の機会を得て、立 とき、 岩に一羽のイワヒバリ ところ、 止まりました。ビスケッ のかけらをさしのべ 偶然目と鼻の先

味が強く

印象が野鳥に興味を持感動しました。この時 その様子がとても可愛く、 たもう一 んで食べてくれまし つの理由 す。 た。 つの



ましたが、まさに一期一 会です。二〇一〇年十一 月五日に思いがけないことがありました。岩木川 を観察していたとき、空 を観察していたとき、空 でした。アルビノでカモの集団 でした。アルビノです。 この出来事でした。しかも と、日本野鳥の会のが混 と、日本野鳥の会の野島 と、日本野鳥の会の野島 を記れました。さんと ましたが まで九十種 類 上

ミヤマホオジロ

アルビノ 真を損ならに良い が待して、野鳥の写い出会いがあるこれました。されました。さいがあるこれました。さいがあるの野鳥の会の野鳥 史上最悪の災害に、私の成二十三年三月十一日、

岩手県庁農業振興課勤務

担い手対策課長 干田

農学生命科学

射性物質」の拡散だ。平別性物質」の拡散だ。平成、見えない死の灰「放脱力、涙・涙…。 み込んだ「津波」。テレビ、 どん底に。県庁がギシギ 新聞で報じられるとお 命を奪い、町・集落をの から落ちる書類、文具、 シと音をたてて軋む、棚 り返す強い激震で恐怖 さらに「本震」到来、繰 これは「余震」だった。 まっているだけだ。でも 器…。三陸の各地では人 も出来ない。机の袖に摑 る激しい揺れ。歩くこと 3 私は岩手県庁五 突然の突き上 時 46 0

ボトル飲料四十五万本な野菜百四十トン、ペットで、コメ百六十二トン、 私が受け持 たる物資支援を受けた。 暗澹に包まれた。住む岩手県も厚く、深く、 生用品など全国からの心台所用品、粉ミルク、衛 沖縄まで延べ百五件にわ 温まる応援で、被災者も どの飲食料のほか、衣類、 ることを条件として全国 しかも支援者自ら搬入す け入れ調整。代価無償で、 に要請した。北海道から は、食料等救援物資の受 震災直後のミッション 粉ミルク、衛 った分だけ

ができた。 東電からの県や住民に対
九月から始まったのだが、

支援は早かった。被災 出身大学の地、 青森県

する経過説明や謝

たばかり、謝罪の動

分 かって生きています。向くことなく、明日に向 ると思います。 トン、りんごジュース千 を申し上げます。お陰様 援に関わった方が大勢い ンティアを含め被災者支 の目途がたったころ、新生活用品の物流に一定 で、 お借りして、心より御礼 や在学生の中にも、 躍される弘大同窓の方々 けられた。全国各地で活 ラック四台で被災地に届 五百ケースが十二トント 被災者は後ろを振り 本誌面を ボラ

請求に対する側面支援だ。 れた。東京電力への賠償たなミッションが命じら

リバーにアリが立ち向かプの態勢も心許ない。ガー るか、 に我が岩手県知事部局職マンモス企業だ。ちなみ と思った。 ないと太刀打ち出来ないるか、余程の知恵を絞ら う様相だ。国の力を借り 員は四千七百名あまり。 (百人とも?) 五万人、弁護士を相当数 命を受けて、 引いた。 相手は、従業員 雇用する

がんばろう岩手 ありがとう日本』

> 羽織、袴に高下駄にて出 制弘前高等学校の学帽と

いたしました。このよ

何人かの先輩、

問期と旧

平成元年の卒業式には、

、「それで 果たしてください。子供ると言った以上、約束を るのですか。東電さんがないからね』って言わせ 一度、年内支払いに応じ 月はお餅もお年玉もいら いち P ĸ 今年

お

る全国会議が開催された。 ざる得ない状況に追い込 刻対応します」と回答せから「わかりました。即 した。 私はある策を練って上京 員も出席する賠償に関す 一月二十五日に東電の役 一発の発言で東電

日からの復旧・復興と モンスターへの一 ~震災一年を振り返って~ の子供たちは、復旧、復めました。でも、被災地に雪が降り始 で挙手した。

| ンスしてきた。県内の農困難」と一方的にアナウニか、突然「年内支払いは 発言のタイミングを読ん むために。 した。 に怒り、 は年を越せない」と一斉 会議当日、場の空気、 年の瀬も押し迫った十 憤りをあらわに 者の立場で震災後の一年たかもしれませんが、筆方には不愉快な記述だったかもしれませんが、筆 者の中に、東電と直接的、 口座への振り込みが完了九日には被災した農家の 座に入金され、十二月十 千万円余がJAの代表口 た。逃げ口を塞いだと信 合った。アリがモンス した。クリスマスに間に 約九割にあたる十九億二 のですか」と詰問しまし たちの目を、あの日3・ ターに勝利した瞬間です。 じました。 11のようにまた曇らせる OBご本人や家族関係 十二月二日、 請求額

きな冬が来たからです。 電さん、何故だか解りま も、東電さんが年内支払 づいてきたからです。で 目を輝かせています。東 興の手伝いをしながらも なるか想像できますか。 クリスマスとお正月が近 いに応じなかったらどう (昭和55年 園芸化学科卒) けでもありがたく頂戴しいです。励ましの言葉だらお届けいただければ幸 ます。 は、 は続きます。特に放射線被害回避とまだまだ奮闘 どうか同窓の皆様方に く、苦悶苦闘の毎日です。 積された知見も経験も 物質対策については、蓄 間のリニューアル、風評 お知恵がありました

案の定。岩手の請求は て、家計の窮地に気づいしないか。 挙げ句の果なかったね』と言われは クリスマスケーキ無いん『おじいちゃん、今年は 変わり、子供たちの大好すか。雪が降って季節が だね』、翌日、『おじいちゃ までの数々のご支援に

創造力を持ち前に進む



東京同窓会会長

を仰せつかった津田と申新しく東京同窓会会長 田と申

く御礼申し上ます。 ご供花をいただき、多く 血性心筋梗塞で亡くならの五十嵐孝平さんが、虚 した。この場を借りて厚 で、しめやかに行われま 学長、三上同窓会長から れました。葬儀は、遠藤 の卒業生の列席するなか します。 世代交代の意味もあり、 昨年の六月に、 前会長

間の闘いを振り返ったも のとご理解ください。 被災地の復興、生活空 と、平成以降卒の私たち間、制弘前高等学校の諸先輩、旧理学部出身の諸先輩、旧 を共有できる会にしていが、楽しく、有意義な時 が、 初代会長の東海林名誉会 今後は、今まで以上に、

当時を思い出しました。 きたいと思っております。 東京同窓会のPRをさせ ただき、卒業生諸氏に、 に、 ていただきました。その 人文学部の卒業祝賀会 時は、きらきらした卒業 去る、三月二十三日も 岡井会長にお招きい 私も卒業

改めて、こ

が、五十嵐さんの後を引平成元年人文学部卒の私 き継ぐこととなりました。 していました。 人生勉強半分で、

生が、 た。まだまだ学生が熱 時代でした。 討議することもありまし 徹」など、身近な問題を 「反負担区分」「炊公化貫 会総会で、何百人もの学 入学当時は、教養自治 夜どうし議論し、

合い、寮生のバイク死亡とから、機動隊とのにらみこれができる。 男子寮二百余名のエネル 重大事故もありました。 在学中(在寮中)は、 はすさまじ 寮行事豆まきでの かったと 後は決まって寮歌を高 言っては飲みました。 ては飲み、政治が悪も仲間が振られたと せないとのことです。 成年であれば、 する楽しい毎日でし

津田 良司 は階長会議の議長でした。の昭和六十一年二月三日の昭和六十一年二月三日の昭和六十一年二月三日の昭和六十一年二月三日の昭和六十一年二月三日の昭和六十一年二月三日の田がよりません。 一番感じた事故でした事故は、寮生の仲間を事故は、寮生の仲間を

たものでした。 前に残っていたいと思っ と仲間との別れは、せつ 寮の方々、先生、 は、今も忘れられません。 たちの温かい祝福の言葉 実社会に出てゆく不安 このままずっと弘 がしました。 街の人 鬼は上半身裸で寮生の は、血の海となりまし 屋の前を走るのです

カンショ節」ではないで四年間の寮生活は、「デ すが、大学で学業半分? であったように、私の人旧制高校の方々がそう み、とにかく仲間と過ご 「物事を議論し考がえ、 酒を飲

ました。あの時の光景

となっています。 寮務委員会では、朝まで 大きく影響を残しました。 格形成には、大学と寮が

女性南極観測隊員で活躍会えば、朝まで酒を飲む 会えば、朝まで酒を飲む 親友です。余談ですが、明寮出身、史上二人目の しました。

改選コンパ、ストー ました。寮行事の水コ 観桜会はもとより、 じた。寮行事の水コン、学生時代は、よく飲み 4 寮にあるはずです。 す。あの色紙は今、 子六月五日

た。 力を した。 あれから二十三年経ちまの「出身」をしました。 と寮歌を歌い、一升瓶で 急行「津軽」で発つホー ムで、三十名以上の後輩 が過ぎ、弘前を離れる日、 っと いう間の 0) 四年

の緊急新鮮血提供等で、小病院に出向き行った寮生・ト期間中にもかかわらず・・ト期間中にもかかわらず・・・の適切な止血措置とテスト 体制がなければ、彼は今、 に加え、附属病院の救急・ へ 今も思い出します。 それ !! した。その時の寮の廊下 八時間の大手術は成功し は、 た。 が、部 乗性の高さが不可欠で がます。今、日本が世界 で生き残るためには、物 で生き残るためには、物 紙と色質 す。 書いていただきました。 祝賀会場までの車の中で 負けられません。 講演後の博士に手 紙をお渡しして、

色紙にはそう書いてあ

弘前大学北溪家 江崎珍於京

一、二年生が未 酒を飲む た高。いい普 卒業生も微力ながら大学前大学に期待し、私たち。弘 とともに、 の意味は大きいと思いま 古き良き伝統を継承し、 の今、この言葉 前に進んで行 北溟

たことは、どこにでも見

たと言って良

いです。

初めて日本に来て驚い

弘前に来た訳です。 を深めるために、 いて学びました。さらに

本について勉強し理解

いろな日本の分野に

文化などの

201



大文社会科学研究科 愷欣 (台湾)

雪だ!みんな早く見にき

あく

雪、

たくさんの

め

るよ!雪にシロップ

かけたら、

かき氷

できあがり!

て!外に雪の

かき氷があ

それ

いのか、話をしていたらみんなで何味がおいし る」と、ある留学生 が言 といちごのシロッ ました。 いました。「 僕 プは が練あ乳 が ま自 た。そして、 てきたら、 またスー 転 車 0 信じられない カゴ 転車に戻 に戻りまし に置

> 名誉顧問 顧問

豊 彦

弘

弘 前

同

窓会役

き

を壊すよ」と言われ、と き氷を食べたら、 日本人の友人に「 ても食べたかったけどや ました。 また日本に来て、 おなか 雪の とて か うとは思いませんでした。 あっという間に二パック ました。たった三分で、 たばかりの挽き肉が三羽 光景が目の前で、繰り広げ のカラスに食べられて られていたのです。 の肉がこんなことになろ 買

も驚いたことがあります。 はカラスです。 日本 して日本人はカラスが嫌 この経験をした後、 かるようにないなのか、わ どう

副会長

千葉 西澤

信行

工

学

部

可

樹

会

会

長

副会長 副会長

岡井

人

文

学

部

窓

会 窓会会長

会

長

学部医学科鵬桜会理事長

三上

巽

農学生命科学部同

顧問 顧問

東海林恒雄

弘

前大学同窓

会

前

会

長 長 長

佐藤 遠藤 吉田

敬

前

学

正

弘

前 前

大 大

学 学

前 元

学 学

文化違っ ても心 通

事理 務事 局 長 理事

工藤

睦男

教 教 人

鈴木

弘

育

学

部

窓

会

会

長

400,000 円

246.000 円

50,000 円 50,000 円

10,000 円 3,000 円

建部

文

学

部

同

窓

会

副

会

鳴海

晃

学部

北沢

功圭

撮っていました。 くて真っ黒のカラ スーパーで買った スの記念写真 た。とても珍しい スを初めて見まし 肉と野菜をそのま に来てから、 でたくさんカラ ところがある日、 大き を りと様々な体験と経験を 良 くさんの人達と出会 な日本でこれからも、 心が通じるものがあった と思っています しました。きれいで親切 に住み、文化が違っても、 私は日本に来て青森県 経 験をして りました。 いきた

カ 誰もが自 由に乗れる 工 ス

らに、二十四時開いて レー ターなどです。 さ 61 と思います。 弘前にはコンビニがたく さんあり、 とても便利だ

の学生は面倒見が良学生に対して、弘前 分からないことや問

存分に楽しみました。

たくさんの人と出会い

平成23年度 決算額

2,667,641

276,000

192,000

125,000

160,000

240,000

148,000 359

3,809,000

平成23年度 決算額

345,240

253,000

48,351

40,000

6,901

40,950

2,563,582 2,175,958 3,809,000 3,663,982

平成24年度 弘前大学同窓会事業予算書

るコンビニがあることに も二十四間開いているお も驚きました。ドイツで 都会以 時に、日本で始まる新し、別前駅に初めて到着した、 んど弘前のことに 日本に来る前にはほと い生活を ついて \$, ます。 会があって、とても充実緒に色々な活動をする機 題があった時には、いつも 助けてくれて、ほっとし 弘前大学の学生と一

授業の後や週末に

ますと言いたいです。 どうもありがとうござい 大学での留学生生活に、 貴重な体験ができる弘前

部に入学して、歴史、言特ち、高等学校を卒業後の文化の多彩さに興味を

強しています。子供の時

生として弘前大学で勉

去年の十月

から交換留

人文学部

ヤン・ヴェ

ルグマン (ドイツ)

に、テレビゲームをして、

アニメを見て以来、日本

外では見つけにくい

弘前が第一

ത

)故郷

想像し、 不安と緊

しています

また、国際交流センタ

友

ます。

詳しくは、

同窓

災支援活動助成を行い

決算額

2,667,641

276,000

192,000

125,000

160,000

240,000

148,000

決算額

345,240

253,000

48,351

40,000

6,901

40,950

510,976

359 3,809,000

十四年度も東日本大震

同窓会では、平成

お知らせ

1,収入の部

項

前年度繰越分

人文学部同窓会

教育学部同窓会

理工学部同樹会

2. 支出の部

印刷費

役務費

会議費

旅費 通信費

消耗品費

項

医学部医学科鵬桜会

農学生命科学部同窓会 預金決算利息等

医学部保健学科さくら会

同窓会費

会事務局までお問い合

予算額

2,667,641

276,000

192,000

100,000

160,000

240.000

148,000

3,784,141

予算額

400,000

243,000

40,000

50,000

10,000

3,000

40,000

1.998.141 2,563,582

1.000,000

500

わせください

店がありますが、

張でドキドキして 第二の故郷になっ はもう私にとって 実していて、 の生活はとても充 ですが、 弘前で 弘前 今と 場所です。 所なので、とても好きな達と会うこともできる場 外で一 勉強することも、

なっては、

いました。

弘前公園です。たくさん この祭りは日本で一番き 写真を撮りました。 桜祭りを見ました。 番好きな場所 が 兀

小

ピ

Y

7

ス

平成23年度 弘前大学同窓会決算報告書

★平成二十三年度の

ませんでした。 田賞」の該当者はおり

1, 収入の部

前年度繰越分

人文学部同窓会

教育学部同窓会

理工学部同樹会

預金決算利息

2, 支出の部

印刷費

役務費

会議費

旅費

通信費

消耗品費

文化祭費

FAX TEL 00弘連

1 1 7 7 2 (363) 窓 (363) 窓

医学部医学科鵬桜会

農学生命科学部同窓

計

東日本大震災支援活動助成費

医学部保健学科さくら会

同窓会費

農学生命科学部同窓会副会長 医学部保健学科さくら会副会長 医学部保健学科さくら会会長 理工学部 育学 医学科 部 部 同樹 同窓 同窓 卒 鵬桜会常務 業 会 会 会 生 副会 副 副 代 会 会

三浦 小山

賢二

内

占 泉谷

小笠原 糠塚いそし 雅昭 敏雄 潤 理 文 人 文学 理 工 (平成24年5月19日現在) 学 学 部 部 樹 会 会

1,

平成24年度 予算額

2,563,582

276,000 192,000

84,000

160,000

240,000

148,000

3,663,982

P成24年度 予算額

400,000

246,000

50,000

50,000

3,000

40,000

200,000 489,024

平成24年度 弘前大学同窓会事業計画

事業内容
(1) 大学現況内容等の会報 (年1回) の発行
(2) 各同窓会間の連絡調整
(3) 請演会又は音楽会の開催
(4) 弘前大学総合文化祭への参加
(5) 東日本大震災支援活動 2, 事業費 (1) 印刷費 ·会報印刷代 · 本称-F-1797.1 (2) 役務費 · 事務員給与 @1,000円×1時間(1日)×246日

©1,000円×1時間(1日) ×:
(3) 会議費
(4) 旅費
・東京~弘前 40,000円×1回
・タクシー代
(5) 通信費
(6) 消耗品費
(7) 雑費
(8) 文化祭費
(9) 東日本大雲災本援活動助成機 (9) 東日本大震災支援活動助成費

き

40,000 円 200,000 円 489,024 円 1,488,024 円 平成24年度「吉田基金」事業計画

平成23年度「吉田基金」決算報告書 1,収入の部 項 予算額 決算額 前年度繰越分 2,598,065 2,598,065 預金決算利息 1.000 418 2,598,483 2.599.065 計 2, 支出の部 項 TOEIC受賞者副賞 300,000 予備費 2,299,065 2,598,483

平成24年度「吉田基金」事業予算書

2,599,065 2,598,483

,	収入の部			
	項	目	平成23年度 決算額	平成24年度 予算額
ίĵ	年度繰越分		2,598,065	2,598,483
Ą	金決算利息等		418	500
	計		2,598,483	2,598,983
,	支出の部			
	項	B	平成23年度	平成24年度

平成24年度「吉田基金」事業計画	計	2,598,483	2,598,983
一人以四年以一日山墨亚」事未可回	2, 支出の部		
1, 事業内容 (1)国際化教育支援	項目	平成23年度 決算額	平成24年度 予算額
2. 事業費	TOEIC副賞	0	300,000
(1) TOEIC副賞 300,000 円	繰り越し・予備費	2,598,483	2,298,983
事業費計 300,000 円	計	2,598,483	2,598,983
本大震災の被災大きな拍手をで大きな拍手をで大きな拍手をで大きな拍手をを流した弘大生でボランティアでまた、岩手県でボランティアでボランティアでボランティアでボランティアでボランティアでボランティア	の決意を寄せて頂いた。 の決意を寄せて頂いた。 が表しながらも教養教育 が襲しながらも教養教育 がいるがらも教養教育 がいるがられている。	長から就任した。第十十年ぶりに	編 集 後 記

文化祭費東日本大 繰り越し・予備費 3,784,141 3,809,000

伊松一神佐佐森崎條 藤本 森崎保 藤 木 英正健季 明敏司子真健

勝